

1. 研究課題名： アジア諸国における使用済み電気電子機器・
自動車の排出量推計と金属・フロン類の回収シ
ステムの効果測定



2. 研究代表者氏名及び所属：
寺園 淳（独立行政法人国立環境研究所）

3. 研究実施期間：平成 26～28 年度

4. 研究の趣旨・概要

アジア諸国においては電気電子機器・自動車の排出量が年々増加しているが、主要な機器別の将来推計や、不適正処理による金属回収とフロン類管理の状況は把握できていない。

そこで、今後も増加が予想される使用済み電気電子機器・自動車の排出量を特定の材料・部品に着目して推計し、処理プロセスに応じた金属などの挙動解明や、回収システムの効果測定と課題提示を行う。これによって、資源性・有害性の管理と地球温暖化防止の観点から、アジア地域で今後取り組むべき耐久消費財の所在を明らかにする。また、バーゼル条約における環境上適正な管理（ESM）や地球温暖化防止に向けた二国間クレジット（JCM）制度などの議論にも寄与することを目指す。

5. 研究項目及び実施体制

①アジア諸国における排出量推計

（独立行政法人国立環境研究所）

②処理プロセスに応じた金属などの挙動解明

（独立行政法人国立環境研究所、東京大学大学院、仙台高等専門学校、公益財団法人地球環境戦略研究機関）

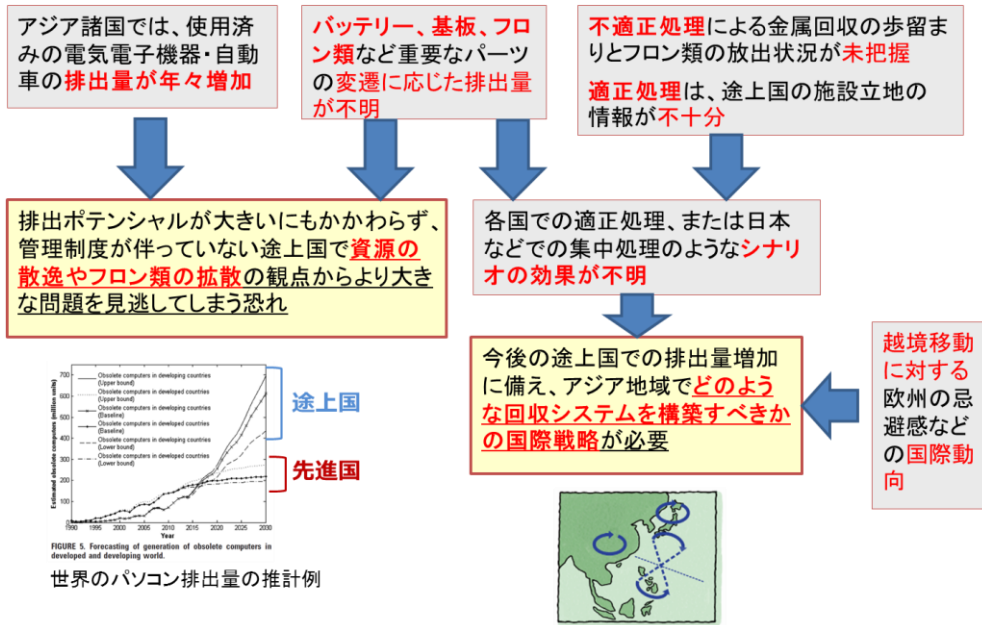
③回収システムの効果測定と課題提示

（独立行政法人国立環境研究所、東京大学大学院、公益財団法人地球環境戦略研究機関）

6. 研究のイメージ

研究課題名：アジア諸国における使用済み電気電子機器・自動車の排出量推計と金属・フロン類の回収システムの効果測定（3K143010）

研究の背景



研究の概要

